

オランダ子供の家訪問

7月8日(土)

オランダ子どもの家を訪問し、国際交流の取り組みを行ってきました。事前学習から用意していた日本の伝統的な遊びを披露するとともに、オランダの子供達は、南アの伝統的なスールー語を使った遊びを教えてくださいました。JSJの高学年の子供達が披露した遊びは、「はないちもんめ」と「だるまさんが転んだ」で、やり方や掛け声を英語によって説明していました。オランダの子供達もとても楽しんでいました。また、遊びを通して一体感を作りだしていました。低学年の子供達は、ふれあいウィークの経験を活かし、今年度初めて自分達が中心となって、遊びを考えて披露していました。「紙相撲」、「ふくわらい」、「はないちもんめ」等がありました。伝えたいするのが難しい場面や想定していない事が起きたりもありましたが、交流の中で笑顔が常に輝いていました。

交流では、一緒にダンスを見たり、踊ったりして楽しみました。JSJはシャハンバ、ショショローザ、ヨハネスソーランなど、日頃の学習の成果を存分に発揮して、オランダの子供達から拍手喝采を受けていました。一緒に踊る時もジェスチャーを交えながら英語を使って丁寧に教えていました。

この交流を通して、楽しい遊びや笑顔は言葉を越えたコミュニケーションであり、そこには色々な障壁を越えるパワーを秘めていることを学んだことでしょう。



